

湿地の管理で刈り取ったヨシ笛

はばたき公園には、たくさんの植物が生育しています。その中でも虫や鳥などの生きものたちの大切な生息場となっているのがヨシという植物です。でも、ヨシが増えすぎてしまうと、鳥たちの住む場所が狭くなってしまいう問題もあります。このため、はばたき公園では定期的にヨシの刈り取りを行っています。

今回は、この刈り取ったヨシを使って『ヨシ笛』づくりの体験キットを配布しました。参加者の皆さんはご家庭でヨシ笛の音色を楽しんでくださったと思います。



ヨシ笛は根元の茎の太い部分を使います

湿地に生息する生き物の観察カード

観察会では、QRコードを読み取って観察カードをゲットしたよ。みなさんも下のQRコードからカード情報をよみとってみてね。



観察会でのQRコードの看板

<p>植物 ヨシ</p>	<p>植物 ヒメガマ</p>	<p>植物 ツツイトモ</p>	<p>虫 ギンヤンマ</p>	<p>虫 ハイイロゴウ</p>
<p>鳥 マガモ</p>	<p>鳥 カルガモ</p>	<p>鳥 ヒドリガモ</p>	<p>鳥 オナガガモ</p>	<p>鳥 シロチドリ</p>

参加者の皆さまからの声

『自然に関する専門的な知識・情報と共に様々な自然にふれることができ、とても有り難い体験でした』、『公園はアイランドシティの新しい魅力であり、住民としてうれしいです』、『とても興味のあるイベントに参加できて楽しかったです』などの意見を頂きました。参加の皆さまに、はばたき公園に興味や関心をもってもらえたようで、とてもよかったです。

参考資料
4-1



アイランドシティはばたき公園 見学・体験会ニュース

人と自然との共生を象徴する空間をコンセプトとするアイランドシティはばたき公園には、平成30年度の造成工事により湿地が出現し、渡り鳥など多様な生物が生息する環境ができつつあります。

アイランドシティにお住まいの皆さんに、一足先にこの湿地を見学していただき、はばたき公園について興味を持ってもらうために、現地見学・体験会を開催しました。



<日 時> 令和2年11月28日(土) 9時30分~11時30分
 <天 候> お天気：曇り時々晴れ 気温：11℃
 <参加者> 総勢21名(大人15名、子ども6名)

● 当日の流れ

第一部 「はばたき公園整備プランなどの取組の説明」

はばたき公園の計画や公園をとりまく自然と公園の位置づけや、見学・体験会を開催した理由である市民共働の運営管理について説明しました。



第二部 「湿地見学をとおして、モニタリング調査を疑似体験」

湿地に生息する生き物を観察し、観察シートに、その日確認できた鳥類や、昆虫等をチェックしながら、モニタリング調査の疑似体験をしてもらいました。



第三部 「はばたき公園の活動への興味や関心を深める」

湿地で刈り取ったヨシを使った笛キットや、湿地に生息する生き物の特徴が分かる観察カードの配布を行いました。

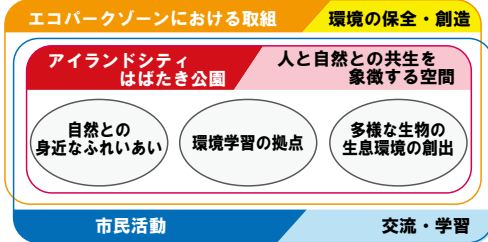


第一部 「はばたき公園整備プランなどの取組を説明」

整備の基本方針 ～平成27年度策定 基本計画（整備プラン）～

はばたき公園が目指す姿（目標像）

- 環境の保全・創造
 - ①渡り鳥が利用する場
 - ②エコパークゾーンの豊かな自然が実感できる場
- 市民との交流・学習
 - ③身近に自然とふれあえる場
 - ④環境学習の拠点
- 様々な活動の連携
 - ⑤多様な主体に係る場



《基本コンセプト》

成長する「アイランドシティはばたき公園」～人と自然が共に成長し続けるために～

湿地の現状と今後の整備予定



平成29、30年度

平成29、30年度に造成完了し、令和2年度にはたくさんの鳥や昆虫が生息する湿地に成長しました。



大きさ 約12ha
(IC中央公園とおなじくらい)

令和2年度より、鳥が飛来する湿地がある東側エリアから整備を進めております。

湿地ではシギ・チドリ類、カモ類等の鳥や、ヤゴ類などの水生昆虫を見ることができます。

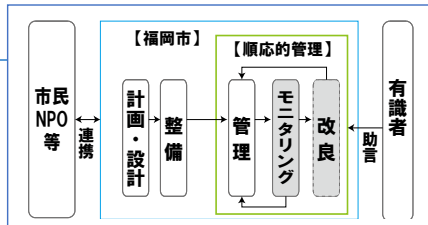


令和2年11月

湿地の管理運営の取り組み

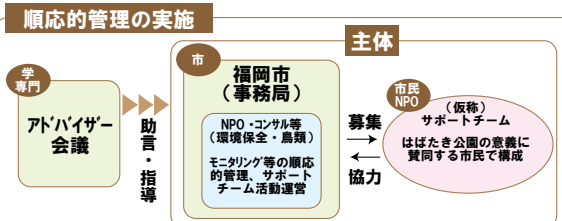
○順応的管理手法の導入

はばたき公園では、『順応的管理（PDCAサイクル）』（左図）手法を導入し、多様な生物に適した生息環境を創出・保全していきます。



○順応的管理を実行する具体的な体制

順応的管理は、学識経験者等で構成するアドバイザー会議から助言や指導を受けながら、市民のみなさま等で構成される(仮称)サポートチームと福岡市が一緒になって実施したいと考えています。



第二部 「湿地見学をとおして、モニタリング等の順応的管理を体験」

バードウォッチングや水辺にすんでいる虫の観察など、モニタリング調査を疑似体験しました。

バードウォッチング

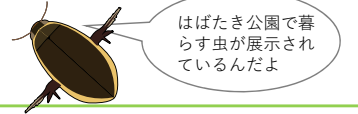


当日はくもり空ですこし寒かったのですが、参加したみなさまは五感を研ぎ澄まして、双眼鏡などで鳥を探したり、飛び立つ鳥の羽音に耳を澄ますなど、いつもよりぐっと身近に鳥たちを感じていました。

虫の観察



水の中で暮らす虫たちを手で触れたり、顕微鏡を使って船のオルのような足を観察したり、水辺に生きる虫たちの生きる工夫に驚いたり、感心したりしていました。



専門家の先生から生きものやはばたき公園の役割の説明



生きもの専門家の先生方からは、このあたりではここでしかみられない生きものたちを紹介してもらい、参加者は都市部にもこのような貴重な場所があることに驚いていました。

こんな生きものがモニタリングできたよ！



令和2年度市民見学会でのアンケート調査結果

令和2年度第1回市民見学会 令和2年11月28日(土)

参加者 アイランドシティにお住まいの方 21名(うち15名アンケート回答)

<質問内容>

Q1 年齢

Q2 市民見学会の満足度

Q3 湿地が身近にあることをどう思うか

Q4 湿地をよくするための活動として何が必要か(複数回答)

Q5-1 湿地をよくする活動にかかわってみたいか

Q5-2 活動にはどのようにかかわってみたいか

Q6 どのようなイベントがあれば参加したいですか

Q7-1 今後、一緒にイベントの運営してみたいですか

Q7-2 どのように運営してみたいですか

Q8 活動やイベントへの案内をあげてよいか

Q9 感想

<アンケートの結果>

【まとめ】

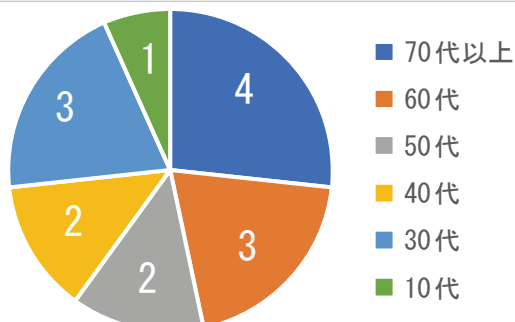
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、イベントの内容を一部縮小しての開催となったが、参加者全員から『満足』、『やや満足』と回答を得ており、参加者にとって良い機会を提供することができた。

また、イベントや湿地の保安全管理へ参加しても良いという市民がいることを可視化することができた。

今後は、アンケート結果により判明したイベントや保全活動の需要を参考に、はばたき公園の活動の意義を伝えながら、イベントや湿地の保全活動へ参加しても良いという市民とともに、市民見学会等を実施していくことで、サポートチームの担い手確保や育成が望めると考えられる。

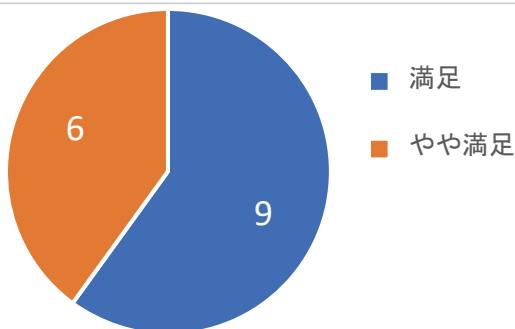
【各質問に対する回答】

Q1 年齢



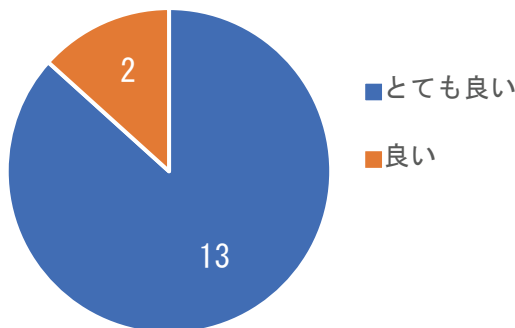
高齢者から、親子連れまでアイランドシティにお住まいの幅広い年齢層が参加した。

Q2 市民見学会の満足度



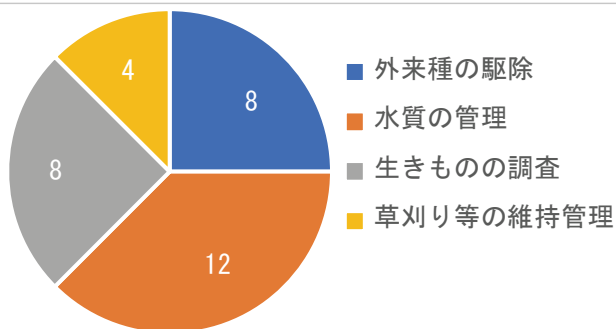
回答者すべてが『満足』、『やや満足』と回答しており、参加者が満足するイベントであったと考えられる。

Q3 湿地が身近にあることをどう思うか



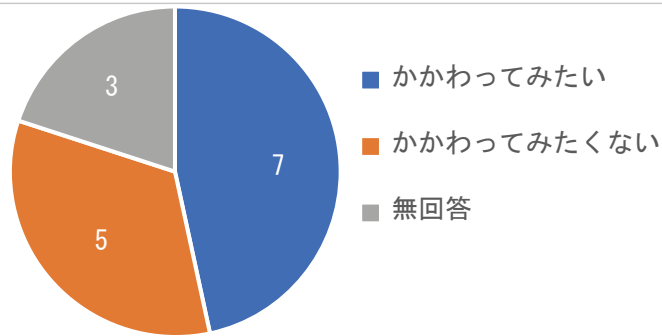
回答者すべてが『良い』、『とても良い』と回答しており、参加者が湿地に対して好意的であると考えられる。

Q4 湿地をよくするための活動として何が必要か (複数回答)



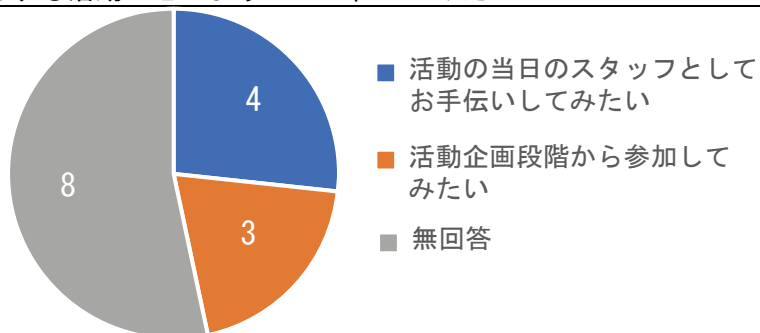
当日現地は、多くのカモ類の飛来により、素人目にも水質が悪化していたため、湿地の環境保全について、水質の管理が重要と回答している方が多かったと考えられる。

Q5-1 湿地をより良くする活動にかかわってみたいか



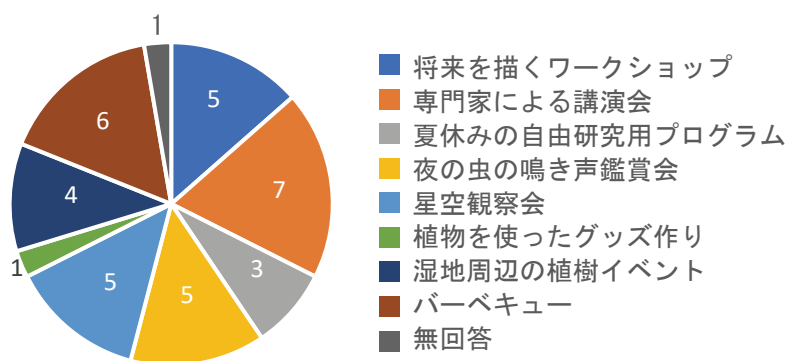
湿地の保全活動にかかわってみたい方がいることを確認できた。

Q5-2 湿地をより良くする活動にどのようにかかわってみたいか



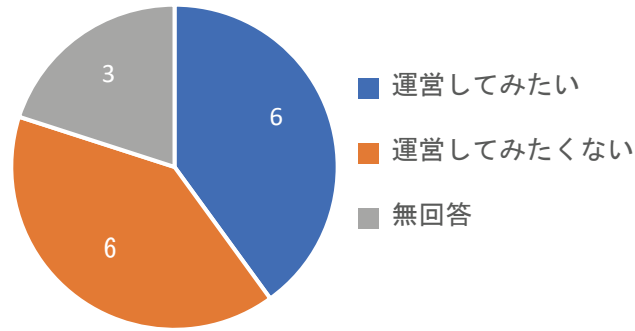
Q5-1 でかかわってみたいと回答した方のうち、『活動の当日スタッフとしてお手伝いしてみたい』という回答を 30 代 2 名、40 代、70 代女性の全 4 名から、より活動への関与具合が増える『活動の企画段階から参加してみたい』という回答を 30 代、50 代、60 代男性の全 3 名からいただいた。なお、『活動自体を主催したい』という自主的な活動に関する回答も準備していたが、回答者はいなかった。

Q6 どのようなイベントがあれば参加したいですか (複数回答)



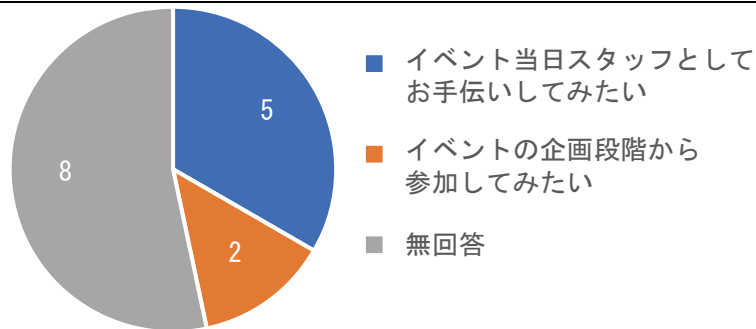
見学会の際の専門家の話が興味深かったことが影響したのか、専門家による講演会参加希望が最も多かった。

Q7-1 今後、イベントを開催する場合、福岡市と一緒にイベントの運営してみたいですか



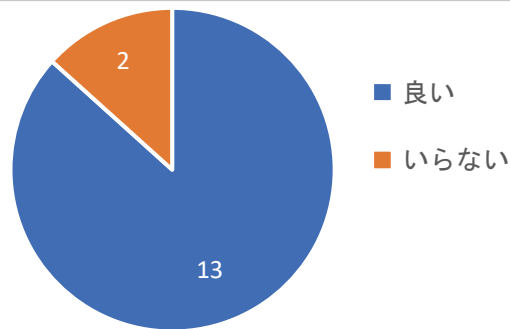
はばたき公園でのイベント運営にかかわってみたい方がいることを確認できた。

Q7-2 どのように運営してみたいですか



Q7-1 でかかわってみたいと回答した方のうち、『活動の当日スタッフとしてお手伝いしてみたい』という回答を30代2名、40代、70代女性と、60代男性の全5名から、より活動への関与具合が増える『活動の企画段階から参加してみたい』という回答を30代、50代男性の全2名からいただいた。なお、『イベント自体を主催したい』という自主的な活動に関する回答も準備していたが、回答者はいなかった。

Q8 活動やイベントへの案内をあげてよいか



湿地保全の活動やイベント運営への関与の有無希望に関係なく、案内連絡をしていい方が、13名集まった。

Q9 感想

- ✓ イベント参加はしたいが、活動への協力まではきびしい
- ✓ 貴重な体験ありがとうございました
- ✓ 自然に関する専門的な知識・情報と共に様々な自然にふれることができ、とても有り難い体験でした。かわいいカモchan（虫や植物も意外に）いやされました。またアイランドシティの魅力の1つとなり住民としてうれしいです。自然が好きなので、今後もよりこういうふれあいの場が多いとうれしいです。ありがとうございました。
- ✓ 先生たちがくわしく、鳥や植物の事を教えてくれたので良かったと思った。
- ✓ はばたき公園が開園（一般公開）されるのはいつ頃の予定か知らせてほしい
- ✓ とても興味のあるイベントに参加できて楽しかったです。ありがとうございました。
- ✓ 子どもが楽しめる公園になるといい
- ✓ 勉強になりまして、有り難うございました。

アイランドシティはばたき公園



湿地の見学・体験会を開催します

参考資料

4-3

環境共生のまちとして、緑あふれる取り組みを進めているアイランドシティここに新しく「アイランドシティはばたき公園」が誕生します。

湿地の生きものの専門家による解説を聞きながら、アイランドシティはばたき公園に住み着いた生きものを観察し、身近な自然環境の保全について考えてみませんか？

主催

福岡市
(港湾空港局 アイランドシティ事業部 計画調整課)

対象

アイランドシティ住民の方(定員:30名程度)



自然環境に興味がある方、
地域活動に興味がある方、大歓迎！



概要

日時 3月27日(土) 9:30~11:00

集合場所 アイランドシティはばたき公園前
道路(裏面参照)

内容 ・公園の整備計画及び市民共働の運営管理の説明
・湿地の生きもの観察(モニタリング調査疑似体験)等

※9:00から受付を開始します。

※内容については変更になる場合があります。

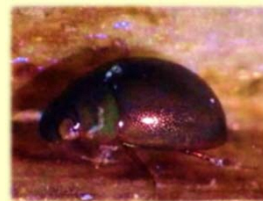
※小雨決行。

※感染症拡大防止対策について、十分配慮して開催します。

そのため、状況によっては直前に中止する場合があります。

わたしのなまえは？

正解は会場で！



参加無料

事前申込
必要

申し込み締切
令和3年3月19日(金)

- ・お子様連れ可
- ・集合場所からはばたき公園までは歩きます。
- ・公園は完成前で、石などが転がっているため、歩きづらいです。(動きやすく汚れてもいい服装でお越し下さい。)

お申込方法

下記の必要事項をご明記の上、下記メール又は、電話、FAXでお申し込みください。
(定員に達した場合は、締め切らせていただく場合がございます。)

【必要事項】

①お名前(ふりがな)、②住所、③年齢、④連絡先(メールアドレスまたは電話番号)

【お申込み・お問い合わせ先】

福岡市 港湾空港局 アイランドシティ事業部 計画調整課 担当:森, 小山

TEL. 092-282-7037 FAX.092-282-7044 E-mail keikaku-c.PHB@city.fukuoka.lg.jp

※いただいた個人情報は本見学・体験会の目的以外には使用しません。

※グループやご家族でお越しの方は、お手数ですが全員のお名前・住所・年齢と代表者の方の連絡先をお知らせください。

日時 3月27日(土) 9:30~11:00

集合場所 アイランドシティはばたき公園前道路

内容 ・公園の整備計画及び市民共働の運営管理の説明
・湿地の生きもの観察(モニタリング調査疑似体験)等

